

国会 初 登院



福田とおる

衆議院議員
MBA(経営学修士)
医師(救急科専門医)

「誰かのための政治」

救急医はひとのために働きます。私は今日まで一日たりとも、ひとの命を大切に思わずに過ごした日はありません。そして誰かの力になれることに喜びを感じて働いてきました。

昨今の政治を見ると、自分自身の地位や名誉やお金のために働いているように見えることが少なくありません。今、ひとのために、国民のために働く政治が必要です。私はこれまで毎日誰かのために働いてきました。もちろん今日も。そして明日も。「誰かのための政治」を取り戻す。



福田とおる議員を
応援しています！

元中日ドラゴンズ
川上憲伸



政策をもっと 日々の活動をもっと 親しみをもっと

 HP	 X	 Instagram	 Youtube
---	--	--	---

活動報告

国民民主党議員としての 仕事が始まるスタート

● 手取りを増やす



国民民主党の公約の実現に向けて、党一丸となって活動しています。特に注目されている「103万円の壁」については、交渉の仕方・経過など、報道・ネットでの発信を通じて、国民へオープンにお伝えしています。「対決より解決」の姿勢で、粘り強く交渉し、「手取りを増やす」を実現します。

● 国民のために

「103万円の壁」以外にも政治資金改革、カスターマーハラスメント対策、学校給食無償化、外国人土地取得規制など、15本の法案を提出しました。国民民主党は経済、社会保障、教育、安全保障等、全ての領域において**国民のための政治**を追求します。



教育国債法案提出のようす

厚生労働委員会で 質疑に立つ

● 皆に嬉しい医療改革

現役世代の負担を抑えながら世界一の日本の医療を守りたい。そのためには、無駄をなくし、国民にとって本当に価値のある医療に集中投資するべきです。

厚生労働大臣に

「余って捨てられる薬、 unnecessary 検査の重複がどの程度あるのか?」「医療のデジタル化を進めるためには医療現場にどのような支援が必要か?」など質問しました。医療を受ける国民、提供する医師や看護師たち、支える現役世代、皆に嬉しい医療改革を目指します。



国民民主党を代表して

NHK「日曜討論」に出演

「政治とお金」について討論しました。「お金でゆがまない政治」「有権者の思いがお金に負けない政治」が必要と意見を述べました。政策で日本を良くするためではなく、選挙で当選するためにお金を使うことを、国民が望んでいるわけではありません。選挙制度改革で国民の思いが届く政治、日本をもっと良くする政治が実現すると考えます。



厚生労働大臣に対する質疑のようす

